

# 教育班だより 2月号②

気仙沼教育事務所 HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mskyoz/>

2月号②では、管理職等研修会、研究主任研修会、初任者研修（1年目）教育事務所研修4、初任者研修（2年目）教育事務所研修3 課題研究発表会についてお知らせいたします。

## 12/25 管理職等研修会

【講師】宮城県教育庁教職員課 課長 工藤 駿 氏

- 「管理職としてのリーダーシップ」「働き方改革」「教員志願者の確保」等について、参加された管内の80名の先生方がたくさんの学びを得た研修会となりました。

【事後アンケートより】

「教育行政の立場・経験から、管理職に求められる資質や働き方改革などの講話をいただき、新たな気づきを得る事ができた。」「私たちは新しいもの、未知のものを避けようとする傾向があるが、はじめから否定せず、柔軟に考えていくようにしたい。」「グループで『校長として必要な資質』や『取り組んでいる(取り組んだ)働き方改革』等について話し合ったことで、自分の考えが整理され、これからすべきことなどの幅を広げることができた。」



## 1/15 研究主任研修会

- 「検証改善委員会報告書」「指導概況報告」の活用に向けた説明、小・中学校は「次年度研究に向けて」「授業づくりで大切にしたいこと」についての講義、幼稚園は、「質の高い保育と学びの土台」についての情報提供を行いました。その後、「今年度の成果と課題を生かした次年度研究計画に向けて」をテーマにグループに分かれて協議を行いました。次年度の校内研究の推進に向け、研究主任の先生方の熱意を感じる研修会となりました。

【事後アンケートより】

「全員を巻き込んで、成果と課題を明確にし、新年度へ引き継ぐことを意識しながら取り組みたい。」「全職員で校内研究を推進していくために、研究主任として様々な研修の機会を得た知識を、その先生に必要なタイミングでいかに簡潔に伝えられるかが重要だと思った。」「子供たちに主体的な学びを求めるのであれば、教師が主体的でなければならない。教師の熱量を上げること、そして、その熱が子供たちへと還ることを目標に頑張っていきたい。」「他者改善と自己改善についてのお話を受け、『教師が変わったこと』『子供が変わったこと』という観点から全職員で実践を振り返っていきたい。」



## 1 / 2 1 初任者研修（1年目）教育事務所研修 4

- 「個別最適な学びと協働的な学び」「子供・保護者との関わりについて」「道徳科の授業づくり」、「特別な配慮を必要とする子供への支援」についての講義・演習、「一年間の振り返り及び成果と課題の共有」を行いました。初任者の先生方は今年度の実践を振り返り、成果と課題が見えてきた様子がうかがえました。それぞれが目標を持ち、次年度に向けて、意欲を高める研修となりました。【事後アンケートより】

「個別最適な学びと協働的な学びを意識した自分の授業スタイルを考えていきたい。」「子供たちが『分かった』『楽しい』『おもしろい』を実感できるような授業実践を目指し、教材研究を更に努力していきたい。」「生徒指導においては端的かつ丁寧な指導が行えるようにする方法や考え方を学び、児童に応じて最適な指導を目指して努力していきたい。」「生徒との信頼関係の構築を第一に学級経営を進めたい。」



## 1 / 2 7 初任者研修（2年目）教育事務所研修 3

- 初任者の教育事務所研修は、今回で最終となりました。3つの会場に分かれ、この1年間で取り組んできた研究について発表しました。初任者研修1年目の成果と課題を基に設定した2年目の研究テーマの達成に向け、授業力向上に努めたことが伝わる発表会でした。所属校の校長先生からも温かい励ましの言葉をいただきました。
- 閉講式では、初任者を代表し、気仙沼市立鹿折小学校の山條真和先生が初任者研修で学んだこと、これから生かしていきたいことなどについて力強く決意を発表しました。
- 来年度は、初任者研修3年目、まとめの1年となります。これまでの研修で学んだことを生かすとともに、日々の授業改善を積み重ねていってほしいと思います。



今年度の気仙沼教育事務所主管の各種研修会を実施するに当たり、研修会場を提供していただきました各小・中学校の校長先生をはじめ教職員の皆様、講師や授業を提供していただいた先生方、本当に数多くの皆様の御支援、御協力のおかげで、すべての研修会を滞りなく行うことができました。心より感謝申し上げます。